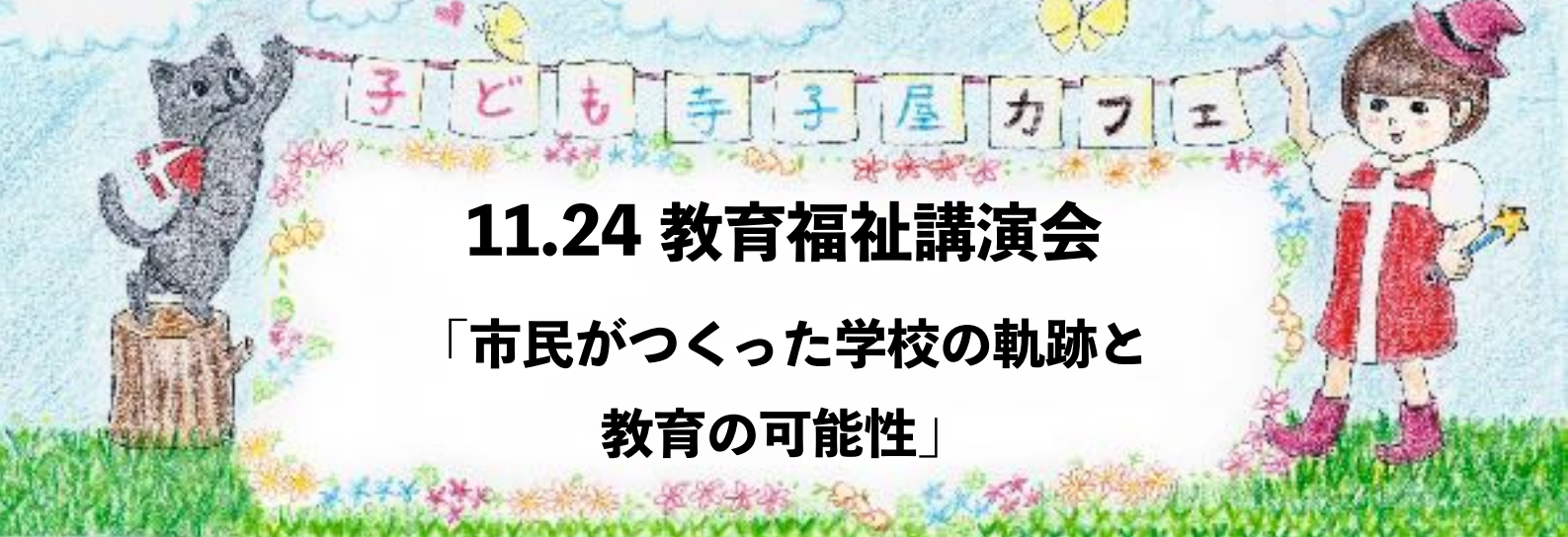




11.24 教育福祉講演会

「市民がつくった学校の軌跡と 教育の可能性」

2004年に大阪府箕面市内に開校したオルタナティブスクール「^{みのお}箕面こどもの森学園」は、7人の小学生でスタートし、今では70人の小中学生が通う学校に成長しました。この学校の21年間の歩みと市民がつくる教育の意義と可能性についてお話します。この学校では、フレネ教育とイエナプランをベースに、子どもが主体的に学ぶ内容を決め、デモクラティックに運営していきます。ユネスコスクール認定。

講師の辻 ^{つじ まさのり} 正矩さんは元大学教授で、子どもが「自分らしく学び、生きる」ことを大切に、2004年に箕面こどもの森学園を創設しました。以来、子どもの主体性や創造性を育むオルタナティブ教育に取り組んできました。現在は教育研究家として、学校や地域における新しい学びのあり方を探究しながら発信を続けています。著書に『小さな学校の時代がやってくる』（築地書館 2021年）などがあります。

日時 11月24日（月、祝）午後2～4時

場所 メイトム宗像1F 101会議室

811-3437 宗像市久原180 Tel.0940-36-0202

演題「市民がつくった学校の軌跡と教育の可能性」

^{つじ まさのり}
講師 辻 正矩

**箕面こどもの森学園創設者、NPOコクレオの森前
代表理事**

参加費 無料

（終了後、希望者は講師との交流会があります。交流会参加費は
コーヒーとお菓子代実費の300円です。申し込み時にお知らせ下
さい）。

定員 25人（要事前申込み）

主催「子ども寺子屋カフェ」を運営する会

問い合わせ、申込先 Tel.070-1374-8968/
mann@asahi.email.ne.jp（清水）

後援 日本グルントヴィ協会、宗像市、宗像市教育委員会
子ども寺子屋カフェは、2017年から始まったデ
ンマーク式教育ワークショップを実施する子ども
食堂です。



辻 正矩さん



箕面こどもの森学園

